

導入事例
CASE STUDY 横手市役所 様 × 株式会社渡敬 様

Actiphy Rapid Deploy -RE (アクティブファイ ラピッド デプロイ アールイー)

Actiphy Rapid Deploy -RE 3つのメリット

<p>とにかく簡単! ワンクリック バックアップ/リストア</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ デプロイ作業用USBメモリを使用して、ワンクリックでバックアップの作成・復元が可能です。 ✓ デプロイ作業用USBメモリ内にバックアップファイルを保存する際、キッティング作業に必要な機材はUSBメモリのみ。 	<p>作業効率UPで業務改善! USBメモリを利用した デプロイ作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 管理サーバー&ネットワーク設定不要で、作業は【箱出し ⇒ 復元 ⇒ 梱包】のみ、大幅な作業時間短縮が可能です。 ✓ バックアップファイルはデプロイ作業用USBメモリ内に保存。どの環境よりも高速バックアップ・復元が可能です。 	<p>Plus もしもの保険もバッチリ! 納品後でも簡単に 初期状態へリストア可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ Actiphy Rapid Deploy Plus -REでは、納品物として復元専用USBメモリも作成することが可能です。 ✓ キッティング作業後でも、復元専用USBメモリを使用して、ワンクリックで納品した状態に戻すことが可能です。
---	--	--

簡単キッティングの作業フロー



- 1 ActiImage Deploy USB ツールを使用してデプロイ作業用USBメディアの作成
※メディア (USB・光学) は別途ご用意ください。 ※作成時にそのUSBメディアに対して、デプロイできる回数を指定します (ライセンス範囲内ならデプロイ回数を更新可能)。
- 2 ①で作成したデプロイ作業用USBメディアを使用して、マスターマシンのバックアップを作成
※バックアップファイルはUSBメディア内に自動保存 (重複排除圧縮機能でサイズ縮小可)。 ※パスワード機能でデータ漏えい防止
- 3 ②で用意したデプロイ作業用USBメディアを使用して、キッティング対象のマシンをデプロイ
- 4 作業完了後、マシンと合わせて復元専用メディア (USB・光学) を納品 (納品後、もしもの際に復元可能)
※復元専用メディア (USB・光学) の用意は [Actiphy Rapid Deploy Plus -RE] のご購入が必要となります。

Actiphy Rapid Deploy -RE は、システムインテグレーターおよび VAR/OEM 向けの、USB メディアのみでクローニングが可能なコンピュータ用キッティングツールです。
ActiImage Protector のエンジンを搭載したデプロイ用 USB メモリを作成し、マニュアル不要のわかりやすいユーザーインターフェースを使ってクローニングが可能。これによりエンジニアの設定作業における工数、時間、コストを大幅に削減できます。

ライセンス形態・価格、体験版のダウンロードなど詳細はこちら <http://www.activeimage-re.com/>

故障PCの修理作業等にキッティングツールを活用
従来と比べて作業時間を80%軽減

秋田県横手市が所内用PCのリプレースに際し、その作業を落札したのが、県内を中心にさまざまなITサービスを提供している地場企業・渡敬である。横手市の要望には、何かあった際に必要なデータを確実に復元したいというものがあったが、渡敬では提案の中にコンピュータ用キッティングツール「Actiphy Rapid Deploy -RE(アクティブファイ ラピッド デプロイ アールイー)」の活用を盛り込むことで、これを実現。
従来は1台あたり1~2時間程要していた復元作業が、10分程度で済むようになり作業時間を80%削減した。
また、所内での実績を踏まえて所外用PCにも追加で導入し、これらの機器についても今後故障等が発生した際の一次対応の作業時間短縮が見込まれている。既に利用中のツールということもありマニュアルの大部分を流用することで導入工数の削減にも繋がった。

Actiphy Rapid Deploy -RE

課題

所内用PCの故障頻発によりリプレースを実施。トラブルへの備えとしてPCを確実に復元できるしくみを整備したかった。

解決

Actiphy Rapid Deploy -REを活用した渡敬の提案を採用することで、何かあっても簡単に復元できる環境を実現。作業の大幅な効率化にも貢献した。

これまでの課題

既存PCの故障頻度が上がり
トラブルへの対応が通常の業務を圧迫

2005年に8つの市町村が合併し誕生した秋田県横手市。県東部の中核都市である同市は、江戸時代以来の町割りや今に残る増田町、町のあちこちにかまくらが立ち並び雪まつり、第4回B-1グランプリで優勝した横手やきそばなどでも有名である。2019年5月には、マンガ「釣りキチ三平」の作者・矢口高雄氏のふるさとの増田地域に、「増田まんが美術館」がリニューアルオープン。矢口氏の作品をはじめ、国内外の著名マンガ家の原画20万枚を収蔵し、収蔵作家数も日本一を誇る原画の聖地となっている。

かつて同市では、職員が業務で使用するPCについて、2011年から5年間のリースを受けた。その後もPCを使い続けてきたが、既に保守契約は終了しているため 部品交換などのトラブル対応は、ユーザーサポートを担当する情報政策課が自らの手で行っていた。しかし、機材の老朽化とともに故障頻度が高くなり、その対応が通常の業務を圧迫するようになっていたという。同市 総務企画部 情報政策課 情報政策係 主任の佐藤 健哉氏は「当時の担当者からは、『約1300台の端末を使用していたが、ハードディスクや電源ユニットなど、ハード系の故障が頻発。故障したPCには回収、修理、データ移行など、1件あたり平均2時間弱の作業が必要で、かつ本庁舎以外のPCはさらに移動時間もかかっていた。』と聞いています。こうした作業の負担増から通常の業務へしわ寄せがいくようになった結果の見直しでした」と語る。

こうした問題に加え、2020年1月のWindows 7 EOS(サポート終了)も迫ってきたことから、同市はPCリプレースを決断した。

導入のいきさつ

自らが使い勝手の良さを体験した上で
簡単にPCをリカバリーできる方法を提案

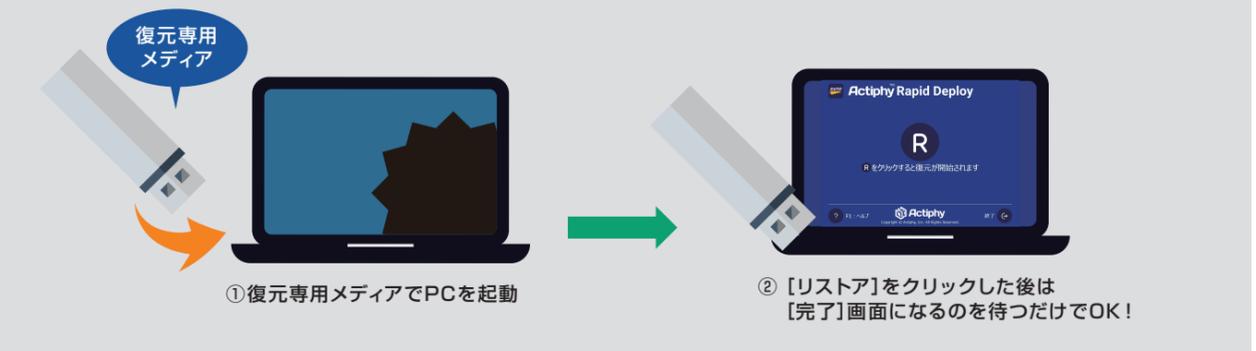
横手市では2017年夏より入札に向けた検討を開始。7、8社を対象に、RFI(情報提供依頼書)を提供した。これをもとに2018年4月、RFP(提案依頼書)を作成し、具体的な提案をベンダーから募集。プロポーザル方式により選定されたのが、渡敬の提案であった。

1933年創業の渡敬は、同市内に本社を構える地場企業。同社は県内を中心にさまざまなサービスを提供しているが、IT分野ではシステムハード・ソフトウェアの販売、ネットワーク・通信機器の構築、ITソリューション、システム系保守メンテナンスなどを取り扱っている。渡敬 オフィスソリューショングループ 営業担当 マネージャーの伊藤直也氏は、同社のポリシーについて「自らユーザーとなって実際に製品を使用し、その中から良いものをお客様に提供する点に強くこだわっています」と語る。

今回のPCリプレースにおいて、同市が特に重視していた要件の一つが、「PCを確実に復元できること」であった。佐藤氏は、そのねらいについて「PCのトラブルに伴う復元作業は、今後も私たち情報政策課が自らやることになります。そこで、これを機会に作業を効率化するしくみづくりも併せて提案するよう依頼したのです」と説明する。

これに対し渡敬は当初、他製品を利用して復元するしくみを考えていた。しかし2017年7月、かねてから同社が活用していた、イメージバックアップツール「ActiveImage Protector -RE」シリーズに、新たなラインアップとしてコンピュータ用キティングツール「Actiphy Rapid Deploy -RE」(当時:ActiveImage Deploy USB -RE)が追加されたことを知る。同市はその操作性の高さと手軽さに魅了され、製品を切り替えて提案することにしたのである。

復元専用USBメモリによる初期状態へのリストア手順



Why Runexy

リカバリーにかかる作業工数の削減と
大幅な時間短縮に期待

同市は各社からの提案を総合的に比較・検討したが、そこでも Rapid Deploy -RE の活用という提案は高く評価された。

2018年5月、横手市は渡敬と正式契約。その後、11月より渡敬がキティングを実施した。そして、市役所へ納品された各PCを、各職員が自分の課へ運んで設置を行った。「分庁舎から作業をスタート、本庁舎を最後とし、ひと月で配布を完了していました。グループウェアを通じ、手順などの情報を提供したことで、作業はスムーズだったと聞いています」(佐藤氏)

2025年現在、トラブルに関する問い合わせは月に1~2件程と落ち着いているものの、対応時の作業時間短縮を実感しているという。「もしもトラブル発生時に手作業で復元するとしたらそれだけで1時間程度はかかってしまいます。それがRapid Deploy -RE では、USBメモリを挿して管理画面で同意のボタンを押すだけで、自動的に復元作業が実施されます。時間も5~10分程度で完了するため、メリットは大きいです」と述べる。

また渡敬 オフィスソリューショングループ 早坂幸信氏は「市の担当者が自ら復元作業に使うツールであることを考慮すると、他製品より使いやすいRapid Deploy -RE を提案するのが良いと考えました。実際、私たち自身もActiveImage Protector -RE を使用した経験があり、その性能には自信がありました」と語る。

得られた効果

国内企業ならではの手厚いサポート
マニュアル作成もスムーズに

2023年の夏頃には所外用PCのリプレース計画も動きだした。その際、兼ねてより利用していたRapid Deploy -REのライセンスを導入。既存ツールということもありマニュアルがほとんど流用できるといった思いがけない効果もあったという。

佐藤氏は「所外用PCのリプレース時には横手市から同製品を使いたい旨を相談しました。効果は導入済みのPCで体感しているため安心できています」と話す。

早坂氏も「近年はSSDの採用をはじめとしたハードウェアの性能向上もあり物理的な故障件数が減少している反面、セキュリティ対策などを目的としたOSやソフトウェアのアップデートにより予期せぬ論理エラーが発生してしまうケースが増えています。そういった場合における一次対応が短時間かつ簡単なマニュアルで実施できるRapid Deploy -REは非常に頼もしいです」と続けた。

かねてより横手市では、RPA(ロボットによる作業の自動化)の導入など、各種IT施策に取り組んでおり、今後も業務改善につながるような先進的なチャレンジを積極的に推進していくとしている。

渡敬もこうした動きをさまざまな面からサポートしていく方針だ。また、常に最良のサービスを提案できるよう自社にショールームを用意し、さまざまなオフィスソリューションの体験ができる環境を整備している。

「ラネクシーに自社製品と遜色ないレベルでサポートを提供してもらったことで、良い提案ができました。イメージバックアップは海外製品が多い中、ラネクシーの提供するバックアップ・キティングツールは、国内企業ならではの手厚く小回りの利くサポートが魅力です。融通も利き、本当に頼りになる存在ですね」(早坂氏)



横手市(市役所)

所在地 : 秋田県横手市中央町8-2
人口 : 80,612(令和7年1月末時点)
概要 : 肥沃な土壌と寒暖の差が大きい気候に恵まれたことで、古くから農業や商業で栄えてきた。中でも江戸時代以前から人や物資の往来でにぎわった増田の町並みは、国の伝統的建造物群に指定されている。また、水神様をまつる小正月行事のかまくらには、内外から多くの観光客が訪れる。
URL : <https://www.city.yokote.lg.jp/>



横手市役所
総務企画部 情報政策課 情報政策係
主任
佐藤 健哉 氏



株式会社渡敬

所在地 : 秋田県横手市卸町2-2
創業 : 1933年9月17日
資本金 : 2000万円
事業内容 : 文具・事務機器の販売、コンピュータネットワーク構築およびソフトウェア開発、広範囲のシステムサポートおよびオフィスの設計・施工など
URL : <https://watakei.co.jp/>



渡敬
オフィスソリューショングループ
営業担当 マネージャー
伊藤 直也 氏



渡敬
オフィスソリューショングループ
早坂 幸信 氏